

メッセージ: あきらめてはいけません

OIC の皆様おはようございます。
ようこそ天の父なる神の家へ来られました。

今回のメッセージで、ヨシュア記の続きを 「あきらめてはいけません」というタイトルでお話しします。

「あなたは信じられますか?」というタイトルの次の言葉で私は前回のメッセージを締めくくりました。

イエス・キリストに選ばれた神様の民である私たちはどうでしょうか? 私たちは神様について好意的に語っているのでしょうか...あるいは、神様が私たちを支えてくださるためにされることを分かち合うことに重点を置いているのでしょうか? 神様は日々、私たちを小さなことから大きなことまで非常にたくさん助けてくださいます。神様が私たちを助けてくださった最も偉大な方法を毎日続けておられます。神様が単に太陽を止められたことよりもはるかに大きいことです。イエス様を死からよみがえらせることに比べれば、太陽を止めることなど小さなことではないでしょうか。

今日は、ヨシュアが罪深いカナン人を絶滅させるために、カナン中の町から町へとどのように回ったかをもう一度見てみましょう。神様は約束の勝利によってヨシュアを励まし、強くし続けられました。神様はヨシュアに言われました: あきらめてはいけません。神様の全能、万能の御手がヨシュアとイスラエル人達とともにありました。各町の詳細はそれぞれ非常によく似ているので省きます。聖書はヨシュアの征服を次のように要約しています。

<ヨシュア記 11 章 16 節-23 節>

16 こうしてヨシュアは、山地、ネゲブ、ゴシェンの地、低地、アラバ、イスラエルの山地と低地を占領しました。

17 イスラエルの領土は、今やセイルに近いハラク山から、ヘルモン山麓のレバノンの谷にあるバアル・ガドに至る全域に及びました。ヨシュアはまた、その地域のすべての王を打ちました。

18 これらの戦いは長い年月かかり、

19 ギブオンに住むヒビ人を除いては、和を講じた町は一つもありませんでした。ほかの町は、ことごとく戦い取ったものです。

20 それは、主が敵の王たちに、イスラエルと和を講じるよりも対抗する道を選ばせたからです。それで敵は、主がモーセに命じたとおり、非情にも一掃されることになったのです。

21 この戦いの間にヨシュアは、ヘブロン、デビル、アナブ、ユダやイスラエルの山地に住む巨人族、アナクの子孫を捜し出し、町もろとも全滅させました。

22 それで、イスラエルの地から巨人族は絶えましたが、それでもガザ、ガテ、アシュドデには、少数の生き残りがいました。

23 こうしてヨシュアは、主がモーセに告げた地の全域を獲得したのです。ヨシュアは、この地を相続地としてイスラエル人に与えるため、部族ごとに割り当てました。ついに戦いはやみました。

アナクの子孫は巨人です。生き残ったのはペリシテ人の地のいくつかの町だけでした。ヨシュアの征服から約300年後、ペリシテ人がイスラエルを攻撃したとき、そのようなアナクの子孫が攻撃を指揮しました。〈サムエル記 I 17章4節 - (7節)〉に書かれています。

〈サムエル記 I 17章4節 - (7節)〉

その時、ゴリヤテというガテ出身のペリシテ人の豪傑が陣地から出て来て、イスラエル軍に向き合いました。身長が約三メートルもある巨人で、青銅のかぶとをかぶり、五十七キロもあるよろいに身を固め、青銅のすね当てを着け、七キロもある鉄の穂先のついた太い青銅の投げ槍を持っていました。盾持ちが、大きな盾をかかえて先に立っていました。

旧約聖書の歴史とクリスチャンの人生における神様の道

〈ヨシュア記 11章17節-19節〉に記されています。

〈ヨシュア記 11章17節-19節〉

17 イスラエルの領土は、今やセイルに近いハラク山から、ヘルモン山麓のレバノンの谷にあるバアル・ガドに至る全域に及びました。ヨシュアはまた、その地域のすべての王を打ちました。

18 これらの戦いは長い年月かかり、

19 ギブオンに住むヒビ人を除いては、和を講じた町は一つもありませんでした。ほかの町は、ことごとく戦い取ったものです。

ヨシュアのように、イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンは多くの勝利を手にしていきます。全体で最も重要な勝利は、「贈り物」でした。その「贈り物」とは共にいてくださるイエス様との人生の始まりです。信仰による悔い改めと新しく生まれ変わる人生です。しかし、悔い改める前に、聖霊なる神様は私たち全員が罪人であり、神様の敵であるという正しい罪の意識を認めさせました。裏切られた夜、イエス様は弟子たちにこう言われました。

〈ヨハネ 16章7節-8節〉

7しかし、わたしが行くことは、あなたがたにとって一番よいことなのです。わたしが行かなければ、助け手である聖霊はおいでになりません。行けば必ずおいでになります。それというのも、わたしがその方を遣わすからです。

8その方が来られると、世の人に誤りを認めさせます。罪、心の正しさ、神との正しい関係、さばきからの救いについて、人々は考え違いをしているのです。

〈ヨハネの福音書 16章8節〉は、罪と義と裁きについて、世 {罪人} に認めさせます。神様の敵である罪人が、深い罪悪感を抱くべきではないなどと考えるはいけません。愛ではない、クリスチャンの思いやりや感情は、罪の重荷を負った罪人を間違った方向に導くかもしれません。神様は、世 {罪人} に有罪と宣告されました。罪人は神様の法廷の最高

裁判官の前に立ちます。愛は、2000年前に私たちの罪を赦すためにイエス様が死なれたという真理を与えます。

時はこの確信の贈り物から悔い改めの贈り物までさまざまであるかもしれません。つまり神様によって正当に非難されている自分の立場を理解することです。これは私たちを救うための神様の忍耐強い働きです！同じ聖霊なる神様が、クリスチャンになるために、私たちの心の中で罪の意識と悔い改めの両方を成し遂げてくださいました。＜ローマ人への手紙8章23節＞はこの不思議を宣言しています。

＜ローマ人への手紙8章23節＞

23 そればかりか、私たちクリスチャンでさえ、御霊を自分のうちにいただいて、将来の栄光を先取りしているにもかかわらず、罪からの完全な解放を待ち望んでうめいています。その日には、神が約束してくださった新しい体、すなわち、もはや苦しみも死もない体をいただくのです。

聖霊なる神様の最初の実 - 大切な宝石の連なり - 悔い改め、信仰、希望

- 悔い改め - まだ罪人であり、神様の敵であった私たちに、聖霊なる神様の最初の水の宝石が注がれました。罪から立ち返り、神様の助けを得なければならないと知ることは、輝かしい贈り物です。あなたは自分が罪人で無力であることを知っています。
- 信仰 - 罪人が、個人的な方法で、イエス様が自分のために死んでくださったことを信じるようになるとき、貴重な真珠のようです。イエス様の死は、罪悪感の無限の重荷であった罪を取り除くことです。
- 希望 - 人生の新たな目的を持つイエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンの天国のエメラルドのようです。イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンはイエス様を信じているので「いのち」そのものを初めて持っています！イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンは自分の罪に対する裁きから解放されることを知っています！イエス様は十字架の上で、サタンがイエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンに放つかもしれない罪悪感の矢をすべて断ち切られました。天国の法廷では、イエス様を信じて新しく生まれ変わる前の人生とは異なり、神様の目に罪の意識はありません。なぜなら、もはやイエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンに罪としてみなされるものはないからです。イエス様を信じる信仰は、裁判官である神様に、かつて罪人であった者が今は「無罪」とであると宣言させるからです。＜ローマ人への手紙8章1節＞のように、

＜ローマ人への手紙8章1節＞

こういうわけで、今は、キリスト・イエスに属する人が罪の宣告を受けることはありません。

Bruce 牧師、3,500年前にヨシュアが異教徒の罪人を殺したことと何の関係があるのですか？”と聞かれるかもしれません。ヨシュア記の5章から12章にあるヨシュアの勝利の一連の軍事行動は、数時間で読むことができ、何の関係があるのかわかります。しかし、＜ヨシュア記11章18節＞に

<ヨシュア記 11 章 18 節>

18 これらの戦いは長い年月かかり

時間に関する旧約聖書の古代は、現代の世界とはまったく違います。たぶん、非常に緩やかな起用が期待されているスペインや他の温暖な気候の文化圏で、そのことを多少なりとも反映しています。<ヨシュア記 11 章 18 節>の「長い年月」という言葉は、「年数」を意味します。リビングバイブルは、この言葉を「7年」という意味だとしました。「7年」は、ヨシュアが信仰を耐えるのに厳しく試される十分な長さでした。親愛なるみなさん、ヨシュアがそうであったように、耐え忍ぶ信仰はしばしば試されます。あきらめないでください！

だから、信仰はしばしば試されるから、私は私たちクリスチャンの経験を、<ローマ人への手紙 8 章 23 節>で、ヨシュアのとなりに、あるいは並んで置きます。

<ローマ人への手紙 8 章 23 節>

そればかりか、私たちクリスチャンでさえ、御霊を自分のうちにいただいて、将来の栄光を先取りしているにもかかわらず、罪からの完全な解放を待ち望んでうめいています。その日には、神が約束してくださった新しい体、すなわち、もはや苦しみも死もない体をいただくのです。

聖霊なる神様の最初の実 - 大切な宝石の連なり - 悔い改め、信仰、希望です。

あなたは探し求めていますか - これがその試されることです。

あなたは罪悪感という重荷に疲れています。そう感じるのは神様の愛だと、あなたはまだ気づいていません。神様を探し続けてください。<ルカの福音書 11 章 9 節>でイエス様は言われました。

<ルカの福音書 11 章 9 節>

祈りも同じです。あきらめずに求め続けなさい。そうすれば与えられます。捜し続けなさい。そうすれば見つかります。戸をたたきなさい。そうすれば開けてもらえます。

神様は、悔い改めという聖霊なる神様の実を受け取るために、あなたの心を整えるためあなたのうちで働いておられます。あきらめてはいけません。

イエス様を信じて新しくあるいは最近生まれ変わったクリスチャン - 信仰の試し

あなたは罪から救われたことをとても喜んでいます。イエス様の十字架は、あなたに罪悪感のない敬虔な喜びをもたらします。イエス様はあなたの主であられ、神様であられます。しかし、人生の次のステップについては手掛かりがなく、戸惑っていますか？

<ルカの福音書 11 章 9 節>

祈りも同じです。あきらめずに求め続けなさい。そうすれば与えられます。捜し続けなさい。そうすれば見つかります。戸をたたきなさい。そうすれば開けてもらえます。

あなたは聖霊なる神様の信仰の実を持っています。しかし、あなたの信仰は小さすぎて、信仰をもって人生のどこへも行くことはできないように思えます。やり遂げなさい。あきらめてはいけません。

クリスチャンの働き人 - 信仰の試し

あなたはイエス様は私のものだという祝福された確信を持っています。あなたはイエス様をまだ信じていない人達に主イエス様を証しする真の喜びを持っています。しかし、誰もがあなたから背を向けます。あなたは神様のために働くことに失望を感じています。2つの真実が私の心に浮かびます：

1. <ルカの福音書 10 章 16 節>でイエス様は言われました。

<ルカの福音書 10 章 16 節>

イエスは、さらに続けて言われました。「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。あなたがたを受け入れない人は、わたしを受け入れないばかりか、わたしを遣わされた神をも受け入れないのです。」

あきらめてはいけません。

2. その使徒職において大きな失望を経験した使徒パウロは、<コリント人への手紙 I 15 章 58 節>で言いました。

<コリント人への手紙 I 15 章 58 節>

愛する皆さん。このように将来の勝利は確実なのですから、しっかり立って、動揺することなく、いつも、主の働きに熱心に励みなさい。なぜなら、復活は確かであり、主のための働きが決してむだに終わらないことを、あなたがたは知っているからです。

私たちの宣教地である日本の宣教師牧師として、Dorothy と私がイエス様に従っている大きな出来事をお話しします。神様の宣教師としての召しを信じた初期の頃、教会の多くの指導者たちは、私たちの聖霊なる神様の実が海外宣教の仕事に合っていないように思えたため、私たちを失望させました。教会の多くの指導者たちは、ここでたくさんのことをしていないなら、海外宣教でもたくさんのごことはしないだろうと言いました。

Dorothy と私はボストンでのイエス様への奉仕活動で時間が許せば、郊外の教会にもよく通いました。ある日曜日の朝、私はその日曜学校で宣教についての授業があったのをはっきりと覚えています。日曜学校の先生は言いました：「今日は、イエス様の宣教地に降り立つまで、クリスチャンの働きでほとんど何も成功しなかったカップルの話をします。」Dorothy と私は聖霊なる神様が「この話はあなたがたのためです。」とささやくのがわかりました。それから何年も経ち、大阪にちょうど2年間滞在している今、私は私達牧師夫妻に<コリント人への手紙 I 15 章 10 節>を引用しなければいけません。

<コリント人への手紙 I 15 章 10 節>

今の私があるのは、あふれるほどに注がれた神の恵みとあわれみによるのです。この恵みとあわれみは、むだではありませんでした。なぜなら、私はほかのどの使徒たちよりも働

いてきたからです。けれども、実際に働いたのは私ではなく、私のうちにある神の恵みです。

5人の水のバプテスマを受けました。(アメリカでは25年間で2人のバプテスマを受けたが、日本では5人のイエス様を信じた方に水のバプテスマを受けました)

聖霊なる神様の霊的な祝福 --- バイブルスタディ、教会の女性集会 (Dorothyは、アメリカで1度も家の外でリードしたり集会をもったことはありません。)、そしてフルートの讚美奏楽 (アメリカでは、クラシック音楽の響きはいらぬというワーシップ・リーダーがよくいました。)、そして家に来てくれる近所の友達を作っていること。あきらめてはいけません。

O I Cにいらっしゃるイエス様を信じている兄弟姉妹の皆様

あなたは日曜学校に出席しておられないので、神様の計画をどれだけ見逃しているか、あなたは決して知らないかもしれません。また、もしあなたの神様の働きが弱く見えるなら、あなたはまだイエス様が望んでおられるところまでイエス様に従っていないのかもしれませんが。Dorothyと私のアメリカでの失望は、地上の基ができる前にキリストにあつて決められた召命への私たちの準備でした。あきらめてはいけません。

カナンのまだ征服・占領されていない地域

次の節を読みながら、私たちのクリスチャンの人生と神様のための働きについて考えてみましょう。

<ヨシュア記 13章 1節-7節>

1 老人となったヨシュアに、主は声をかけました。「あなたは年老いたが、まだまだ占領しなければならぬ国が多くある。

2 -7 その地は次のとおりである。 ペリシテ人の全地域、ゲシュル人の地、エジプト川からエクロンの南の境に至る、カナン人の地。 また、ペリシテ人の五つの町であるガザ、アシュドデ、アシュケロン、ガテ、エクロン。 南のアビム人の地。 北のカナン人の全地域、つまり、シドン人の領地メアラから、北はエモリ人との国境の町アフエクに至る地域。 海岸地帯のゲバル人の地と、南はヘルモン山麓のバアル・ガドから、北はレボ・ハマテに至る、レバノンの山地全域。 シドンの全地を含む、レバノンからミスレフォテ・マイムに至る山地全域。 わたしは、これらの地域の住民をイスラエル人の前から一掃しよう。 そうしたら、この地を、わたしの命令どおり九つの部族とマナセの半部族とに分配すればよい。」

神様はヨシュアが失敗したかのように責められたのではありません。大勝利でしたが、1度の戦争でカナンの異教徒の罪人を全滅させたわけではありませんでした。主なる神様はモーセに、その数年前に<出エジプト記 23章 29節-30節>で言われました。

<出エジプト記 23章 29節-30節>

29 しかし、一年のうちに彼らを追い出すことはしない。そんなことをしたら、土地が荒れ果て、野生動物が増えて手に負えなくなってしまうからだ。

30だから、あなたがたの人口が増え、国の全土に広がって住むようになるまで、彼らを少しずつ追い払う。

ここで神様はモーセに、イスラエルの各部族はヨシュアの戦争を終わらせなければならぬと告げておられます。イスラエル人の部族の氏族は、それぞれの氏族の領土で異教徒の罪人を完全に滅ぼさなければなりません。

だから、神様は<ヨシュア記 13 章 6 節-7 節>で言っておられます：

<ヨシュア記 13 章（2 節） 6 節-7 節>

2-7 その地は次のとおりである。 ペリシテ人の全地域、ゲシュル人の地、エジプト川からエクロンの南の境に至る、カナン人の地。 また、ペリシテ人の五つの町であるガザ、アシュドデ、アシュケロン、ガテ、エクロン。 南のアビム人の地。 北のカナン人の全地域、つまり、シドン人の領地メアラから、北はエモリ人との国境の町アフエクに至る地域。 海岸地帯のゲバル人の地と、南はヘルモン山麓のバアル・ガドから、北はレボ・ハマテに至る、レバノンの山地全域。 シドンの全地を含む、レバノンからミスレフォテ・マイムに至る山地全域。 わたしは、これらの地域の住民をイスラエル人の前から一掃しよう。 そうしたら、この地を、わたしの命令どおり九つの部族とマナセの半部族とに分配すればよい。」

いくつかの氏族は、モーセによって土地の領土を割り当てられました。神様はヨシュアを通して、約束の地カナンの土地の分割を終わらせられます。

神様は、超自然的に彼らがこれを行えるようにすると約束しておられることに注目しましょう。「私自身がこの民を追い出す。」しかし、彼らは挑戦することを決断しなければなりません！もはやヨシュアに負担はありません。

これらの聖句と私たちクリスチャンの人生からのいくつかの教訓：

1. ヨシュアが「定年」に達したと判断したのは、人間ではなく神様でした。<ヨシュア記 13 章 1 節-2 節>を読みます。

<ヨシュア記 13 章 1 節-2 節（7 節）>

1 老人となったヨシュアに、主は声をかけました。「あなたは年老いたが、まだまだ占領しなければならない国が多くある。

2-7 その地は次のとおりである。 ペリシテ人の全地域、ゲシュル人の地、エジプト川からエクロンの南の境に至る、カナン人の地。 また、ペリシテ人の五つの町であるガザ、アシュドデ、アシュケロン、ガテ、エクロン。 南のアビム人の地。 北のカナン人の全地域、つまり、シドン人の領地メアラから、北はエモリ人との国境の町アフエクに至る地域。 海岸地帯のゲバル人の地と、南はヘルモン山麓のバアル・ガドから、北はレボ・ハマテに至る、レバノンの山地全域。 シドンの全地を含む、レバノンからミスレフォテ・マイムに至る山地全域。 わたしは、これらの地域の住民をイスラエル人の前から一掃しよう。 そうしたら、この地を、わたしの命令どおり九つの部族とマナセの半部族とに分配すればよい。」

2. 神様を信じる者、そして今、キリストを信じる信仰によって神様にある者は、教会を建て上げようと努めなければなりません。彼らは神様に「主なる神様、私にどのように神様の御国を建て上げる働き人になってほしいのですか？」と尋ねなければ

なりません。そして神様に告げるのではありません。神様がイスラエル人に告げられたように、イエス様は私たちに告げられています。

<マタイの福音書 16 章 18 節>

あなたはペテロ（岩）です。わたしはこの大きな岩の上にわたしの教会を建てます。地獄のどんな恐ろしい力も、わたしの教会に打ち勝つことはできません。

Petra はペテロの宣言です。

<マタイの福音書 16 章 16 節>

16 シモン・ペテロが答えました。「あなたこそキリスト（ギリシャ語で、救い主）です。生ける神の子です。」

友人やご近所の方々に、ペテロによる Gibraltar 山の宣言のようにこの岩を共有し続けてください。「あなたこそキリスト（ギリシャ語で、救い主）です。生ける神の子です。」あきらめてはいけません。

3. 礼拝のヒーロー！旧約聖書のイスラエル人は、超自然的な啓示の中で神様の御手を見ることが何度も何度もありました。しかし、私に言わせれば、彼らは神様よりもむしろ、指導者に集中しすぎる言い訳をしていました。神様の考えでは、これは言い訳ではありませんでした。各部族は、目に見える証拠から十分な信仰を持ち、現在の平和の時代にカナン人の絶滅を完了せよという神様の命令に従いました。カナン人はもはや一体化されていませんでした。イスラエルの民に対する敵対勢力はもはや完全な軍隊ではありませんでした。それはもはや戦争ではなく、局地的な小競り合いでした。それは、士師記に記されたその後の歴史の中で氏族が自分たちの使命をひどく失敗したことが明らかになるでしょう。氏族は異教の宗教を信仰し、戦いませんでした。

新約聖書のクリスチャンは、使徒たち、特にパウロとペテロを神格化し、ほとんど崇拝しています。これは罪です。通常は故意ではありません。イエス様の福音を前進させるために大きな障害に直面したとき、彼らは神様が自分たちをその場所に置いたのは間違いだったと思い込むかもしれません。神様はご自分が決めたとおりに私たちに油を注ぎ、私たちが力づけることを許されていないと、私たちは神様によくも言えたものです。私たちは、神様が聖書のイエス様を信じる者達に恵みによって偉大で驚くべきことをなされたように、神様が私たちの人生に偉大で驚くべきことをなさることはできないと、神様に伝えるべきではありません。

Bruce 牧師の言葉 「神様のような偉大な人はいない。神様がいかに偉大な存在であるかについて、より大きな視野を持つ人間だけである。」あきらめてはいけません。

4. 神様は、この平和な時代にイスラエル人の氏族が増え、力を増していくことを、大いなる忍耐をもって計画されました。<ヨシュア記 11 章 23 節>に書かれているようにです。

<ヨシュア記 11 章 23 節>

23 こうしてヨシュアは、主がモーセに告げた地の全域を獲得したのです。ヨシュアは、この地を相続地としてイスラエル人に与えるため、部族ごとに割り当てました。ついに戦いはやみました。

神様は常に、御自分の民イスラエルに御言葉を思い出すよう求めておられます！直接、あるいは神様の任命された指導者たちを通してです。神様の民であるイスラエルの民は都合よく忘れていました。

<出エジプト記23章29節-30節>

29 しかし、一年のうちに彼らを追い出すことはしない。そんなことをしたら、土地が荒れ果て、野生動物が増えて手に負えなくなってしまうからだ。

30 だから、あなたがたの人口が増え、国の全土に広がって住むようになるまで、彼らを少しずつ追い払う。

私たちクリスチャンは、悲しいことに、この悪い例をたどっています。神様が私たちに多くの平安を与えてくださるとき、私たちの王であられるイエス様のための御国の仕事において、私たちはしばしば怠慢や怠惰に気づきます。その答えは罪悪感ではなく、自分自身の十字架を選ぶことのないシンプルな日々の祈りです。Bruce 牧師はほとんど毎日、完全に目覚める前に祈っています。「神様、私は怠惰に対して祈ります。」

キリストにある親愛なる兄弟姉妹の皆さん：失望しないでください。また、不安になったり、緊張したりして、聖霊なる神様の助けを過剰な規律によって置き換えようとしてはなりません。神様は、私たちの神様の御国での仕事が『神様の喜びはわが力』のように、歌で満たされるようにする方法を知っておられます。

今日、あなたは神様を探し求めてここにいらっしゃるのかもしれませんが。あなたは、神様の目、神様の法廷において、自分がどのような立場に置かれるのかがわからないかもしれません。また、あなたは聖書を理解し、信じようとするのに疲れていらっしゃるかもしれません。イエス様にあなた自身をゆだねて、明け渡してください。

十字架上でイエス様があなたの罪の身代わりとなって死なれたイエス様の犠牲の愛を信じ信頼してください。あなた自身の善良さにたよらないでください。イエス様だけに信頼し、たよってください。私が祈るとき、あなたが神様にこのことを祈られるなら、どうかすぐそこにあるリフトサインのところへ行ってください。

あるいは、あなたは、よいことをするのに疲れているクリスチャンであられるかもしれません。また、あなたは、あなたに対する悪の勢力にうんざりされておられるかもしれません。また、あなたは自分の心が壊れているように感じておられるかもしれません。私が祈るとき、イエス様があなたの倒れそうな心をとらえてくださいますように祈ってください。あなたは神様の愛されている子供です。あなたは神様から永遠の愛で愛され、その下には神様の永遠の御腕があります。そして、あなたは、リフトサインまで数歩歩くだけです。

あなたが何を必要とされていても、イエス様はイエス様に歩いていかれるあなたの歩みを見ておられます。

祈りましょう。

聖餐式をします。